

都 市 計 画 課

都 市 計 画 係

環境問題への対応など、当面する都市問題は多様化の方向をたどるばかりか、一日も早い解決を要請されており、都市計画にたずさわる者に与えられた課題は、長期の展望と迅速な行動が必要であることを痛感しつつ、昭和48年度における都市計画行政の遂行にあたってきた。

その主なものの第1は、昨年度から引き継がれた「地域地区」の改訂作業をとりまとめ11月20日に都市計画決定したことである。

その第2は、長い間懸案となっていた福生駅東口土地区画整理事業について、関係者とのコンセンサスが得られ、一挙に認可への足がかりをつかんだことである。

第3は、継続事業である加美平並びに多摩河原土地区画整理事業であるが、前者については、問題になっている部分の関係者との接点を見い出すべく努力をほらい、後者については完成へ一歩近ずけるべく鋭意事業を実施したことである。なお、本件については、別項で詳細を述べることにする。

1. 都市計画審議会

昨年度に引き続いて「地域地区」改訂に伴う審議、及び本件に関し青梅市民会館において東京都が実施した説明会への出席等をお互いにかきり、念願の下水道計画に対する審議もなされ、本件については3項目の建議を付してほぼ原案どおり決定することを了承された。

5回開催したわけであるが、途中8月31日をもって3期（6年間）におよぶ長きにわたって委員を務めてくださった9人の委員の任期満了に伴う解任を行い、感謝状と記念品を贈呈して感謝の意を表した。

9月8日、新委員を選任し、同25日委嘱状の伝達式、正副会長の選出を行い、会長に田村祐一氏、副会長に野島茂雄氏がそれぞれ決まった。

2. 都市計画全国大会

全国各地の都市計画にたずさわる者が一堂に会して、日頃の研究や資料の発表、討議を行う本大会は、今後の都市計画行政の推進に寄与するところが大きいわけであるが、今年度は金沢市で開催され、市長ほか2人の職員が参加した。

3. 新しい地域地区について

建築基準法が改正されたのを契機に、3年余にもわたって検討をしてきた地域地区が昭和48年11月20日つぎのとおり決定した。

福生都市計画用途地域

(単位 ヘクタール)

	用 途 地 域								特別工業地区		
	第 1 種 住居専用 地 域	第 2 種 住居専用 地 域	住 居 地 域	近 商 地 域	隣 業 地 域	商 業 地 域	準工業 地 域	工 業 地 域	工 業 専 用 地 域	第 1 種 特別工業 地 区	第 2 種 特別工業 地 区
福生都市 計画区域 (福生市・ 羽村町・ 瑞穂町)	1,923.44	383.53	49.55	62.0	262.5	82.93	292.93	151.77		184.1	52.8
福 生 市	380.2	158.0	24.2	30.3	18.6	40.6	9.5			9.5	21.3

区 画 整 理 係

土地区画整理事業

事業は、加美平、多摩河原両地区ともに本年度中に完了であったが、家屋の移転、街築等に遅れを生じ、施行年度を延伸した。

1. 加美平地区

事業の実施年度は、昭和48年度であったが、都計221号線の築造及び家屋の移転等に重大な支障をきたしたため2年延伸し完遂を目指した。また、立体交差工事を完了した段階で資金計画の修正を行った。

(1) 審議会

加美平地区内の土地の移動に対して、分筆、所有権の移動等が発生するため、仮換地の指定変更をする必要が生じたため、4回の審議会及び協議会を開催した。

5月14日	審議会	仮換地の変更について
6月13日	〃	
8月10日	〃	
2月28日	〃	

(2) 評価員

仮換地指定に伴い保留地予定地の価格を算定するため評価員の諮問を行った。

2月28日	評価員諮問	保留地価格について
-------	-------	-----------

(3) 加美平地区裁判

48年2月13日		
6月19日		
9月4日	中止	
20日	延期	
11月29日	延期	
49年2月13日		

2. 多摩河原地区

本地区は、水田地で家屋も少数であったため本年で事業の完了を目途としてきたが、街路の変更等が一部生じたため年度を一年延伸することとした。また、諸物価上昇の折から事業の資

金計画を一部変更した。

(1) 審議会

仮換地指定後、土地の権利の変動のあった土地について指定変更をおこなったため審議会の意見を聞いた。

5月14日	第1回	}	仮換地の変更について 事業計画の変更について
7月11日	第2 "		
9月10日	第3 "		
10月25日	第4 "		
11月29日	第5 "		
1月29日	第6 "		

(2) 評価員

当該地区内の保留地約20,000平方メートルについて平均的土地を描出し、不動産鑑定を依頼し、価格の適正について評価員に諮問した。

2月6日	保留地の価格決定について
3月28日	"

※ 加美平、多摩河原事業実施表

名称	区分	計 画		昭和47年度施行箇所		昭和48年度施行済		
		面積	延長	面積	延長	面積	延長	
加美平	都市計画道路	46,968m ²	2,830m	38,168m ²	2,280m	7,400m ²	361m	排水管含
	区画街路	96,796	14,323	95,102	14,021	0	0	
	公園	20,666		18,958		0	0	
	整地	65,874		61,279		0	0	
多摩河原	都市計画道路	50,991	3,069	36,925	9,436	3,125	150	
	区画街路	88,487	14,478	95,918	28,831	17,698	1,548	
	公園	44,735		2,903		33,471		
	整地	240,000		124,400		81,949		

※ 加美平、多摩河原事業進捗表

地区名	工 事 件 名	工 事 費(千円)	工 事 概 要
加 美 平	街路築造 都市計画道路 2.2.7 築造	68,411	L 350m W 1,600~2,050m 擁壁 H 7m L 400m 排水管φ400 L 200m 人孔 5か所
	立体交差 青梅線横断 立体交差工事	13,772	二道橋けた(2基)、土留擁コンクリート 電車線路移転、その他諸施設移転 道路橋鉄筋コンクリート造
多 摩 河 原	整地工事 多摩河原整地工事 4件	29,652	表土 7,672m ³
	街路 都市計画道路 2.2.4並びに2.2.19	31,524	
	工事 区画街路築造工事 8件	133,574	
	公園 公園築造工事 外4件	22,925	
	水路改修 水路築造工事 3件	21,493	
	その他 仮設工事等 6件	9,428	

福生駅東口開発担当

福生駅東口土地区画整理事業

西多摩には、玄関がない。さしあたり福生市は近隣市町村の現況を比較して見ても、その玄関となりうる条件をもっている。それは福生駅の東口の開発計画を実現させることによってその条件を満たすにたりる。

以上のような観点から、数年来の懸案であった福生駅東口開発計画は、昭和48年6月8日、東京都知事の承認をうけ、同年6月25日付けをもって都市計画決定（区域決定）をみた。

その後、事業認可に向けて、経過並びに説明会、意見聴取会等を開催し、広く事業の理解と協力を得られるよう関係者と協議をするなかで当事業の計画にあわせ、若干都市計画道路等の変更をしながら、事業計画案の作成を完了し、関係者に計画案に基づいた説明会（昭和49年5月の事業認可決定を目途に）を行った結果、事業認可申請の了解を得た。

公 園 管 理 係

住民の憩いの場であり、また子供達の遊び場である公園は、48年度末現在児童遊園と併せて17箇所、面積にして148,821平方メートル(14.88ha)である。

各公園に設置されているくずかごのゴミ収集、清掃、便所清掃、樹木、藤棚、生垣の手入及び移植、除草剤散布、遊具の点検整備等行ってきた。とくに柳山公園、武蔵野台公園の公衆便所の破損がはなはだしく、利用者が使用できない状態であったものを補修及び設置した。

その他照明灯、水飲場の修繕を行い、公園利用者の不便さを解消した。

1. 公園の使用許可

公園名	申請件数	許可件数	使用目的
加美平東	2件	2件	狂犬病予防接種
福生	6	6	集会4件 文化祭1件 予接1件
柳山	5	5	ボーイスカウトキャンプ3件 子供会2件
南	5	5	集会1件 駅伝1件 たこあげ大会2件 工事1件
計	18	18	

2. 公園施設補修、設置工事

工事名	工事箇所	請負金額	工事内容
公衆便所補修	柳山公園	480,000円	トイレ内清掃、汚泥処理、塗装
〃 設置	武蔵野台公園	278,000	サンコーFRPL型 トイレ2棟据付
〃 〃	福生公園	380,000	〃
計		1,138,000	